

推薦

安川香澄



旅客機から見る 世界の名山

●須藤 茂:編著 ●イカロス出版

コロナで2年間も渡航できないと、海外情報は他人ごとになってくる。いくらオンラインでつながってもバーチャルなゲーム感覚だ。そんな中、海外の大地を空から眺めるワクワク感を味わせてくれるのが、この本。美しい名峰を空から眺めれば、コロナ禍の閉塞感から解放され、山の向こうにある街の人々の営みに想いが飛ぶ、同著者の「旅客機から見る 日本の名山」もお薦め。

性格がいい人、悪い人の科学

●小塩 真司:著 ●日経プレミアムシリーズ

非科学的な性格診断と異なり、研究データに基づいて人の性格を5つの特性で分析。「困った人」に立腹する前に、その性格を正しく理解すれば、付き合い方も解るだろう。普段、何となく感じていたことを科学でスパッと説明してくれる一方、自分がレモン好きなのは冒険好きの性格のせい?と目から鱗の本でもある。

ことばと文化

●鈴木 孝夫:著 ●岩波新書

日本語は述語が文末だから、話しながら相手の顔を窺い、場合によって結論さえ変えるが、英語ではできない。和を尊ぶ日本と、信念ある主張こそ正義とする欧米との違いを感じていた自分には色々と腑に落ちる本だった。「日本人はなぜ英語ができないか」「教養としての言語学」など同著者の一連の本もお薦め。

ノーベル平和賞で世の中がわかる

●池上 彰:著 ●マガジンハウス

2021年のノーベル平和賞は、政権からの弾圧に立ち向かうフィリピンとロシアのジャーナリストに贈られた。このように世相を大きく反映したノーベル平和賞を振り返れば、世界の潮流が見えてくる。鋭い視点の本である。「ノーベル平和賞で世の中がわかる」ことに希望を託し、選考委員会は今年、誰を選ぶのだろうか?

地熱が日本を救う

●真山 仁:著 ●角川oneテーマ21

小説家の真山 仁さんが、日本のエネルギー問題について述べた新書。小説「マグマ」執筆の際、地熱の将来性に気づいた著者が、地熱の可能性を熱く語る。地熱発電の基本的知識から、世界第三位の地熱資源を持つ日本でなぜ十分に活用されていないのかという社会的課題まで、著者の地熱愛に満ちた本。